

令和7年度実績(株式会社セブンイレブン・ジャパン)

No.	連携項目	連携事業名	実施時期	連携・協力内容
1	(10)その他、地域社会の活性化・住民サービスの向上に関すること	県政情報コーナー	通年	セブンイレブン県内各店舗に「県政情報コーナー」を設置し、「脱炭素アクションキャンペーン」をはじめとした県民により身近な場所での県政情報の提供を実施。
2	(4)環境問題対策に関すること	ふくしまカーボンニュートラル実現会議運営事業	令和7年11月	令和7年11月4日に開催した「ふくしまカーボンニュートラル実現会議セミナー」において、株式会社セブンイレブン・ジャパン建設設備本部エネルギー部総括マネジャー 斯波 康弘氏から自社やサプライチェーンの脱炭素化の取組等について講演を実施。
3	(1)地産地消と福島県産品の販路拡大に関すること	GAPの見える化による消費者等の理解促進	通年	福島県産のGAP認証農産物を使ったサンドイッチ等に「ふくしま。GAPチャレンジマーク」を貼付し販売。加え、より多くのGAP認証農産物の利用に向けて協議を実施。 その他、SNS発信(店頭での撮影協力)、なすび探検隊、バスツアーでの情報発信等を実施。
4	(1)地産地消と福島県産品の販路拡大に関すること	「ふくしまプライド。」応援フェア	①令和7年7月22日～8月4日 ②令和7年11月18日～12月1日	県内セブンイレブン全店舗において、県産食材を使用したデリカ商品8品や県産品を販売するフェアを共同開催。
5	(10)その他、地域社会の活性化・住民サービスの向上に関すること	農業振興のための寄附金	令和8年2月25日	農業振興のため、令和7年度に開催した県産食材フェアの売上の一部を県の農業振興のための寄附を実施。
6	(4)環境問題対策に関すること	地球にやさしい消費推進事業	令和7年10月	エシカル消費の普及啓発のため「てまえどり」の県オリジナルレールポップを作成し、各売り場に掲示。
7	(5)地域や暮らしの安全・安心に関すること	商品寄贈	通年	令和2年10月16日に福島県社会福祉協議会及び福島県と3社にて協定した商品寄贈の対応を実施。
8	(5)地域や暮らしの安全・安心に関すること	福島県警のなりすまし詐欺対策シートの活用	通年	県内セブンイレブン各店舗にて福島県警と連携し、なりすまし詐欺対策シートを活用。